



コミュニティ・スクールだより

令和6年9月30日

令和6年度第3回目の協議会を開催しました

9月9日（月）に、第3回学校運営協議会を開催しました。今回は主に、7月に実施した「学校評価アンケート」結果、校内で実施した自己評価委員会で作成した「重点目標達成に迫るための具体的な手立て」について、熟議していただきました。

《第3回学校運営協議会 式次第》

- 1 会長挨拶 2 校長挨拶 3 議長の選出 4 前回会議録確認
- 5 熟議
 - (1) 学校評価と課題の改善策について
〈報告〉○学校評価結果と課題の改善策について
※報告の資料は、本校HP「学校づくりコミュニティスクール」を御覧ください。）
 - (2) 支援活動の具体化について
- 6 学校支援コーディネーターからの活動報告
- 7 連絡

《熟議》

学校運営協議会委員

学校職員

- (1) 学校評価と課題の改善策について
〈報告〉学校評価結果と課題の改善策について



7月に行った学校評価の結果を基に、学年団、部会ごとに話し合いました。その話し合いで課題を共有し、2学期以降に取り組む具体的な手立てを作成しました。

（資料は、本校ホームページに掲載されています。）

「聞く・深める」項目について、先生方の評価が厳しく感じます。

子供たちが「やっている」と思っている、先生は「もっとできる」と考えてしまいます。結果を参考にして、子供たちの頑張りを認めていきたいと思えます。

先生方の理想と、子供たちが考える理想が違うのではないかと感じますが、先生方の理想は子供たちに伝わっていますか。

「学年団別重点目標」を理想として、子供・保護者と共有しています。これからも、子供たちに周知していきたいと思えます。



《熟議》

自分の意見があっても、それが人と違う意見だと自分の意見を否定された気持ちになってしまう子もいると思います。

高学年になるほど自分から進んで発言することが減っていく傾向があるのは残念ですね。なんとかならないですか。

自分が子供だった頃を思い出すと、高学年で発言がしにくくなる気持ちは分かります。

思春期になると周りの目が気になるのは、子供の成長過程としてどうしても仕方がない面はありますね。お互いを認め合う学級風土を目指す中で、学校は言いたいことを言えると感じられるようになったら、とても良いと思います。

東小の子供は、自分の意見を伝えたいという気持ちを持っている子がたくさんいます。自分の考えを発信するだけでなく、友達の考えに耳を傾けることができる子供を増やしていきたいと思います。

「みんなが聞いてくれる」と分かれば、発信がしやすくなります。どんな意見もみんなに受け入れてもらえる安心感があることが理想であり、そういった学校・学級風土を目指していきたいと思います。また、集団の中で個性を認めて、どんな子でも安心して過ごせる環境を作っていきたいと思います。



放課後児童会では、子供たちの夢について聞くことが増えてきた気がします。新しい係の話などを、進んで話してくれます。

子供の自分への評価が全体的に高いですね。自己肯定感が高い子供が多いと感じます。

(2) 支援活動の具体化について（学校支援CDからの活動報告）

5、6年生家庭科のミシン指導補助ボランティアとして、10名の方にお手伝いいただけることになりました。

次回の学校運営協議会は、2月13日（木）9：00から行います。傍聴できますので、御希望の方は、学校（452-3137）までお知らせください。